



我が家の防災・大地震への備え(1)

今後10年以内に発生する確率が20~30%、50年以内が90%以上と言われている海溝型地震の「南海トラフ巨大地震」が起こると、三田市で最大震度5強。

また、三田市周辺には内陸直下型地震を引き起こす「有馬-高槻断層帯」、「六甲・淡路島断層帯」、「山崎断層帯」が分布しており、地震が起これば最大震度6弱~5強の揺れが想定されています。

地震に備えて、**自分や家族の安全を守る為**に**健全な危機感を持って、出来ることをやりましょう!!**

◆◆自宅の安全を見直そう◆◆

大地震の場合、倒れた家具の下敷きになって大ケガをしたり、命に関わる事態にもなり得ます。また、窓ガラスや食器棚のガラス・食器などは割れて鋭い破片となり大変危険です。身近なところから安全を見直しましょう。



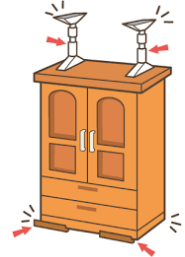
(1)家具の転倒・落下の防止

- ・本棚・食器棚などは、L字金具・突っ張りポール・ベルト・チェーンなどで固定する
- ・寝室には家具を置かない。置く場合は、**倒れても安全な向**に配置する

- ・重い物は下の段、軽い物は上の段に収納する(重心を下に)
- ・扉の無い棚には落下防止ロープなどを張る
- ・家具の手前側をダンボールなどで少し高くするだけでも、完全ではありませんが効果があります



L字金具



突っ張りポール

(2)ガラスの飛散防止

- ・窓や戸棚や額縁などのガラスに飛散防止フィルムを貼る
- ・扉や引き出しにはストッパー付の金具を設置する



ガラス飛散防止フィルム



参考：家具転倒防止の金具やガラス飛散防止フィルムはホームセンターなどで購入できます。

防災便りは、富士が丘ポータルサイトにも掲載しています。
(<http://sanda-fujigaoka.com/> 富士が丘 で検索)

◆南海トラフに起因する地震の発生状況

発生年	地震の規模	南海地震	東南海地震	東海地震	発生間隔など	備考
1361(正平)	?					南海トラフ地震は三連動が特徴。
1498(明応)	M8.4				137年、三連動	
1605(慶長)	M7.9	?	?	?	107年、?	M8級が100~200年周期で発生。
1707(宝永)	M8.6				102年、三連動、富士山噴火	
1854(安政)	M8.4				147年、三連動	現在、空白期間は昭和南海地震から71年、安政東海地震から163年。
1944(昭和)	M7.9				90年、最初に東南海地震、2年後に南海地震	
1946(昭和)	M8.0					
20xx年	M8~M9				三連動の可能性が大	

◆つぶやき◆

阪神・淡路大震災から22年、東日本大震災から6年、月日の経過は防災への意識を風化させます。災害を未然に防ぐことは出来ませんが、備えをすることで“減災”は出来ます。日ごろの備えこそ最大の防御であることを信じて、自分や家族の**自助**、近隣との**共助(近助)**に活かしたいものです。(m.y)

